

Jaguar Land Rover が車載イーサネットのコンFORMANCE試験に Spirent のソリューションを選定

エンドユーザーへ高性能システムと新機能を確実に保証

ロンドン発 – 2019年3月26日：自動車の接続性と自動運転試験ソリューションの大手企業、[Spirent Communications plc \(LSE:SPT\)](#)は本日、Jaguar Land Rover が次世代の車載イーサネットネットワークを検証する上で Spirent のソリューションを選定したことを発表しました。

現代の自動車は 100 に及ぶエンジン制御ユニット (ECU) を備え、ますます多くの自動車が複数台のカメラや先進運転支援システム (ADAS) などの高度機能に対応しており、自動車の設計担当者は車内ネットワークの帯域幅を引き上げる必要があります。オートモーティブイーサネットは、今日の通信ネットワークで用いられているものと同じ堅牢なイーサネット技術をベースにしていますが、それに加え自動車専用のプロトコルと、自動車環境に向けて設計された新たな物理レイヤー接続を備えています。

オートモーティブイーサネットシステムを開発して検証し、自社製車輻に最適なイーサネット設計を決定するため、Jaguar Land Rover は、Spirent C50 と Spirent TTworkbench を選定しました。イーサネットネットワークの性能を測定し、Open Alliance の TC8 試験規格と AVNU の AVB 試験規格に対して ECU の適合性を確認します。

Spirent のオートモーティブ部門にて事業開拓ディレクターを務める Thomas Schulze は次のように述べます。「Spirent の C50 と TestCenter ソフトウェアは、Jaguar Land Rover が同社の車載イーサネットネットワークの堅牢性を容易に検証できるようにします。自動車の接続機能と自律性能が進化するにつれ、Spirent はより多くの企業に対して、そうした新たな機能がエンドユーザーの求める体験と安全性を確実に提供できるよう支援します。」

TTworkbench は、あらゆる自動試験プロジェクトに対応した、フル機能搭載の統合型試験開発&実行環境 (IDE) です。Spirent はこの IDE へ、多彩な国際試験規格に基づく、すぐに実行可能なテストケースを提供しています。これには、Jaguar Land Rover にとって不可欠な機能に関わる、OPEN Alliance のオートモーティブイーサネット ECU 試験仕様、AVNU のタイムセンシティブアプリケーションに向けたオートモーティブ AVB プロファイルが含まれます。

Spirent のオートモーティブソリューションの詳細情報は、以下をご覧ください：
<https://www.spirentcom.jp/Solutions/Automotive>

Spirent について

Spirent Communications (LSE: SPT)は次世代のデバイスとネットワークに向けた試験、測定、解析、保証のソリューションを提供します。当社は高速イーサネット、測位とモバイルネットワークのインフラ市場へ製品、サービス、情報を提供し、同時にサービス保証、サイバーセキュリティ、5G への取り組みを拡大しています。Spirent は開発用ラボからネットワーク運用にいたるまで、常時接続デバイス、ネットワーク機器やアプリケーションの移行を加速させており、完全自動化の試験と自律サービス保証ソリューションへ向けイノベーションを継続しています。